



公益財団法人移行後 初の評議員会開催される

秋田県消防協会

平成二四年四月一日に公益財団法人移行の登記をした秋田県消防協会は、初めての評議員会を五月二四日(木)、秋田市の「イヤタカ」で開催した。

評議員会には、秋田県副知事堀井啓一様、秋田海上保安部長松尾映正様、秋田県消防学校長本間稔様、秋田県町村会事務局局長藤島和雄様が来賓として出席され、また評議員は定数二八名中、一九名が出席した。

評議員会では、最初に殉職された消防職員・団員に黙祷を献じた。引き続き中泉松之助会長があいさつを行い、堀井副知事から祝辞をいただいた後、評議員長の選出が行われた。評議員長には羽後町消防団長の佐藤金一評議員が選出され、佐藤評議員長が議長となり、議事が進められ、平成二三年度会計決算や評議員、理事の選任などが審議された。

題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十四年度全国統一防火標語
消すまでは 出ない行かない 離れない

会長あいさつ



会長
中泉 松之助

ご来賓並びに評議員の皆様には、常日頃、格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会は、四月一日に公益財団法人移行の登記を行い、本日は、初めての評議員会となります。これまでの代議員会から、名称も評議員会となり、その権限なども大きく変わっています。皆様のご理解を賜り、より公益性の高い協会を目指し、地域防災力向上に努めて参りますので、よろしく申し上げます。

いよいよ本年一月一六日には、秋田市で「第一八回全国女性消防団員活性化秋田大会」が開催されます。全国から参加される多くの方々には大きな感動を与えられるよう、県内消防関係者が一丸となつて、秋田にお迎えしたいと考えておりますので、皆様には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

来賓祝辞



秋田県副知事
堀井 啓一

秋田県消防協会が公益財団法人として発足しましたことに敬意を表しますとともに、評議員会には、理事及び監事の選任・解任等の権限が委ねられていますので、これまで以上のご尽力をお願いします。

県では、昨年三月の東日本大震災を機に、改めて、地域の防災体制の強化を図るべく、昨年度から様々な検討を進めてきており、今年度中には取りまとめ、一日も早く対策に取り組みたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

一月の女性消防団員活性化秋田大会は、県も消防協会と一緒に進めて是非とも成功させたいと思っております。また、この大会を機に、消防体制が、これまで以上に強化されるよう、県としても消防協会と手を携えながら頑張つて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

■承認された議案

- ①平成二三年度事業の概要報告
- ②平成二三年度会計決算
- ③監査報告
- ④平成二四年度事業計画及び収支予算

■評議員、理事の選任

*新たに選任された評議員

割石 博之
鹿角市消防団副団長

米田 均

鹿角広域消防本部総務課長
畠山 亮一

大館市消防長
高橋 正尚

美郷町消防団長

(任期は、平成二八年度定時評議員会の終結の時まで)

*新たに選任された理事

海野 達雄

秋田市消防長
泉 篤

能代山本広域消防本部消防長
(任期は、平成二六年度定時評議員会の終結の時まで)

■報告事項等

- ①新公益法人制度改革
- ②第一八回全国女性消防団員活性化秋田大会
- ③平成二五年度消防大会の開催支部
- ④第四九回秋田県消防操法大会出場順の抽選

第49回秋田県消防操法大会出場順

支部名	種目等	小型ポンプ操法の部	ポンプ車操法の部
鹿角	角	1	3
大館北秋田		5	6
能代市山本郡		4	2
男鹿潟上南秋		3	5
秋田	市	2	7
本荘由利		6	4
大仙仙北美郷		7	
横手	市	9	1
湯沢市雄勝郡		8	

※ 8月28日(火) 秋田県消防学校で実施

第一回理事会

秋田県消防協会

秋田県消防協会の平成二四年度第一回理事会在五月一〇日(木)、秋田市の「ルポールみずほ」で理事は定数一四名中一一名が出席し、開催された。

理事会では、中泉会長のあいさつに引き続き、事務局から「新公益法人制度改革」の説明があった後、「承認事項」「評議員会に附議すべき議案」等の審議が行われた。

■新公益法人制度改革承認事項

- ①平成二四年度事業計画及び収支予算
 - ・別表のとおり承認された。
- ②消防互助会規程施行規則の一部改正
 - ・施行規則第九条の区分表のうち、「火災・風水害等により住家が半壊又は半壊したとき」の損害額「一〇〇万円未満」を「二〇万円以上一〇〇万円未満」とすることなどが承認された。
- ③平成二五年度秋田県消防大会の開催支部
 - ・次期大会が「男鹿潟上南秋支部」で開催されることが承認された。
- ④公益財団法人秋田県消防協会の顧問
 - ・柴田康二郎氏(前会長)を引き続き顧問とすることが承認された。

■評議員会に附議すべき議案

事務局から「平成二三年度事業の概要報告」「平成二三年度会計決算」の説明があった後、佐々木監事が「監査報告」を行い、審議の結果、承認された。

- ①平成二三年度事業の概要
- ②平成二三年度会計決算
- ③監査報告
- 第一八回全国女性消防団員活性化秋田大会

新会長に秋本理事長を推薦

日本消防協会代議員会

五月二二日(火)、日本消防協会大会議室で平成二四年度日本消防協会代議員会が開催され、当協会からは中泉会長と中田副会長が出席した。代議員会では、次の議案が審議され、それぞれの議案が原案どおり承認可決された。

- ・平成二三年度事業報告
- ・平成二三年度決算認定
- ・監査報告
- ・会長及び副会長の推薦
- ・公益法人制度改革に伴う新法人における組織体制及び最初の評議員の選定
- ・平成二五年度の消防団関係予算に関する要望

日本消防協会の会長及び副会長

(任期：平成24年5月30日～平成26年5月29日)

会長	秋本 敏文	
副会長	渡邊 茂治	(山形県消防協会会長)
	石田 詔夫	(東京都消防協会会長)
	羽藤 公夫	(長野県消防協会会長)
	今関 正興	(静岡県消防協会会長)
	秋田 治夫	(大阪府消防協会会長)
	松浦 嘉昭	(島根県消防協会会長)
	菰渕 将鷹	(香川県消防協会会長)
	豊永 義夫	(鹿児島県消防協会会長)

公益財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員 (平成24年5月24日現在)

〔理事〕

役職	氏名	所属・階級等
会長	中 泉 松之助	秋田市消防団 団長
副会長	中 田 潤	能代市消防団 団長
"	畠 山 勉	由利本荘市消防団 団長
"	草 薨 忠 誠	大仙市消防団 団長
理事	佐 藤 昇	秋田県総務部 総合防災課 課長
"	黒 澤 文 男	鹿角市消防団 団長
"	稲 葉 盛 榮	横手市大森消防団 団長
"	成 田 十喜男	大館市消防団 団長
"	古 戸 俊 行	潟上市消防団 団長
"	近 野 宗 一	湯沢市消防団 団長
"	海 野 達 雄	秋田市消防本部 消防長
"	伊 藤 和 美	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防長
"	泉 篤	能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防長
業務執行理事	進 藤 鋼 司	秋田県消防協会 事務局長

〔評議員〕

役職	氏名	所属・階級等
評議員長	佐 藤 金 一	羽後町消防団 団長
評議員	割 石 博 之	鹿角市消防団 副団長
"	成 田 俊 昭	小坂町消防団 団長
"	米 田 均	鹿角広域行政組合消防本部 総務課長
"	安 部 幸 美	大館市消防団 副団長
"	北 林 義 高	上小阿仁村消防団 団長
"	畠 山 亮 一	大館市消防本部 消防長
"	長 岐 順 一	北秋田市消防本部 消防長
"	小 玉 運 市	三種町消防団 団長
"	本 多 健	八峰町消防団 団長
"	大 石 壽 信	前五城目町消防団 団長
"	高 橋 重 男	大潟村消防団 団長
"	天 野 正 廣	前男鹿地区消防一部事務組合消防本部 消防長
"	伊 藤 繁	湖東地区消防一部事務組合消防本部 消防長
"	伊 藤 隆	前五城目町消防本部 消防長
"	佐 藤 金 作	秋田市消防団 副団長
"	備 後 孫 忠	秋田市消防団 副団長
"	周 防 彦 宗	由利本荘市消防団 副団長
"	佐 藤 保 之	にかほ市消防団 副団長
"	伊 藤 敬 一	由利本荘市消防本部 消防長
"	阿 曾 時 秀	前にかほ市消防本部 消防長
"	佐 藤 生 治	仙北市消防団 団長
"	高 橋 正 尚	美郷町消防団 団長
"	佐々木 宗 助	前横手市増田消防団 団長
"	佐々木 一 義	横手市大雄消防団 団長
"	泉 田 榮 次	横手市消防本部 消防長
"	佐々木 謙 吉	東成瀬村消防団 団長
"	佐 藤 博 志	前湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防長

〔監事〕

役職	氏名	所属・階級等
監事	佐々木 善 廣	男鹿市消防団 団長
"	北 林 榮	北秋田市消防団 団長
"	泉 信 一	横手市横手消防団 団長

平成23年度決算〔正味財産増減計算書内訳表〕

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

科 目	公益事業	共益事業	管理事業	内部取引	合 計
経常収益計	14,621,330	13,880,174	2,540,171		31,041,675
主な内訳					
受取会費(掛金)	0	5,778,600	0		5,778,600
事業収益	346,500	0	0		346,500
受取補助金等	6,874,030	5,693,898	170,000		12,737,928
受取負担金	3,863,000	752,000	901,607		5,516,607
受取寄付金(会費)	3,338,000	1,192,000	1,431,000		5,961,000
その他経常収益	0	440,670	0		440,670
経常費用計	20,513,606	6,598,300	5,025,399		32,137,305
主な内訳					
給与等	6,175,000	2,204,800	2,646,404		11,026,204
旅費交通費	2,879,380	376,020	629,030		3,884,430
備品消耗品費	1,415,456	1,467,059	162,936		3,045,451
印刷製本費	1,723,845	292,908	8,988		2,025,741
支払助成金	2,461,900	50,000	0		2,511,900
委託費	1,393,795	0	0		1,393,795
見舞金支出	0	1,863,000	0		1,863,000
その他経常費用	2,200,000	23,006	0		2,223,006
当期経常増減額	△ 5,892,276	7,281,874	△ 2,485,228		△ 1,095,630
一般正味財産期末残高	△ 8,658,325	11,789,383	667,579		3,798,637
指定正味財産期末残高	△ 8,658,325	11,789,383	3,667,579		6,798,637
主な内訳					
基本財産	3,000,000	0	0		3,000,000

《平成24年度事業計画》

第1 消防思想普及啓発事業

事業項目	実施内容	実施時期
火災予防運動の推進	支部活動の推進 ・防火弁論大会、防火座談会の開催等	年間
防火ポスターコンクールの実施	・防火ポスターコンクールの実施	平成24年11月
殉職者慰霊に関する事業	・消防職・団員慰霊祭の執行 ・全国消防殉職者慰霊祭への参加	平成24年9月5日 平成24年9月13日
広報紙の発行とホームページの開設	・新聞「消防秋田」を毎月1回(1,100部)発行 ・ホームページでの情報提供	毎月 年間

第2 地域消防防災力向上推進事業

事業項目	実施内容	実施時期
消防団員の教養研修	・支部が行う現地教養研修	年間
	・第65回秋田県消防大会の開催	平成24年6月30日
	日本消防協会などが行う研修会等への参加経費の助成 ・消防団長等幹部海外消防事情調査 ・第2回女性消防団員教育訓練 ・消防団員指導員研修 ・第39回消防団幹部特別研修 ・第12回消防団幹部候補中央特別研修(男性) ・第12回消防団幹部候補中央特別研修(女性)	平成24年10月9日～ 平成24年9月29日～ 平成24年12月1日～ 平成25年1月15日～ 平成25年2月5日～ 平成25年2月13日～
消防操法大会の開催	消防操法大会の開催 ・第49回秋田県消防操法大会の開催 ・支部大会開催への助成 ・第23回全国消防操法大会への出場助成	平成24年8月28日 平成24年6月～7月 平成24年10月7日
消防設備等の充実強化	・消防車両 ・女性消防団員の制服等	年間
消防団活動の活性化	・全県消防団長研修 ・女性消防団ネットワーク会議	平成24年11月16日 (活性化秋田大会と抱合せ)
	消防制度の検討 ・東北地区消防連絡協議会(山形県)	平成24年6月26日～
	・第18回全国女性消防団員活性化秋田大会	平成24年11月16日

第3 消防職団員福利厚生事業

事業項目	実施内容	実施時期
表彰に関する事業	・秋田県消防協会長表彰	平成25年1月1日
	・日本消防協会長表彰	平成25年2月26日
福祉共済事業	・消防団員福祉共済制度 ・婦人消防隊員等福祉共済制度 ・消防互助年金制度 ・火災共済制度	年間

第4 消防互助会事業

事業項目	実施内容	実施時期
消防互助会事業	・罹災見舞金贈呈事業 ・弔慰、傷痍見舞金贈呈事業 ・結婚祝い金贈呈事業	年間

第5 会議の開催

事業項目	実施内容	実施時期
会議の開催	・理事会 ・評議員会	年3回開催 平成24年5月24日

《平成24年度 会 計 予 算》

(単位：円)

勘定科目	予 算 額	摘 要
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
(1) 基本財産運用収入	1,800	
(2) 会費収入	5,700,000	消防互助会掛金
(3) 事業収入	241,500	新聞広告料
(4) 補助金等収入	15,956,000	秋田県、日本消防協会からの補助金等
(5) 負担金収入	7,438,000	
負担金	1,468,000	秋田県からの負担金
市町村負担金	5,970,000	市町村負担金
(6) 寄付金収入	5,918,000	会員会費
(7) 雑収入	213,000	
(8) その他事業活動収入	3,600,000	消防互助会預り金からの繰り入れ
(9) 事業活動収入計	39,068,300	
2. 事業活動支出		
(1) 事業費支出	30,278,000	主な公益事業の事業費
		(1) 消防思想普及啓発費 2,500千円
		(2) 火災予防運動の支部活動費 900千円
		(3) 秋田県消防大会費 890千円
		(4) 秋田県消防操法大会費 1,226千円
		(5) 支部操法大会助成費 900千円
		(6) 女性消防団員研修費 303千円
		(7) 秋田県消防操法大会優勝旗作成費 600千円
(2) 管理費支出	5,487,000	
(3) その他事業活動支出	4,500,000	第18回全国女性消防団員活性化秋田大会負担金
(4) 事業活動支出計	40,265,000	
3. 事業活動収支差額	△ 1,196,700	
II 当期収支差額	△ 1,196,700	
III 前期繰越収支差額	6,798,637	
IV 次期繰越収支差額	5,601,937	

[再掲]

平成24年度 消防互助会収支予算

(単位：円)

勘定科目	予 算 額(A)	前期予算額(B)	増 減(A-B)
収入の部			
会 費	5,700,000	5,700,000	0
雑 収 入	10,000	0	10,000
その他事業活動収入	3,000,000	1,000,000	2,000,000
収 入 計	8,710,000	6,700,000	2,010,000
支出の部			
事 業 費	4,000,000	2,100,000	1,900,000
罹災見舞金	2,700,000	780,000	1,920,000
弔慰・傷痍見舞金	350,000	330,000	20,000
結婚祝い金	950,000	990,000	△ 40,000
管理費支出	4,522,500	4,572,000	△ 49,500
その他事業活動支出	187,500	28,000	149,500
支 出 計	8,710,000	6,700,000	2,010,000



第六六期初任教育の在校生は、四月一三日の入校式からもう二ヶ月が過ぎた。

入校当初、全く未知の分野である消防の教育訓練への不安、寮での共同生活への戸惑いなどが感じられたが、今ではみんなが協力して日々の学校生活を送っている。

教育訓練も五月に入ると、体力錬成、礼式訓練から消防基礎技術の習得へと移行し、現在では、空気呼吸機器取扱訓練、身体結索訓練などの実技訓練が本格化してきている。

こうした中、消防学校から『消防学校に入校して』と題した作文が寄せられたので紹介する。

第六六期初任教育 消防学校に入校して

秋田県消防学校



佐藤 紘輝

(由利本荘市
消防本部)

所属の消防署での研修を終え、とうとう消防学校への入校が完了した。思えば、去年の冬に消防職員採用試験の合格通知が届いた時には、嬉しさでこれから消防士として働けるのだという喜びが頭の中を駆けめぐっていた。

しかし、四月一日に消防学校へ来た時に、「入校の意義と消防の責務を自覚しろ」と言われ、改めて自分が消防学校に入校する意義、これから負わなければならない責任、そして、市民の方々が私に期待している働きについて考えさせられた。

東日本大震災では多くの消防士がその責務を全うし、被災者の方々の希望となった。このことを常に肝に銘じ、自らを律した節度ある行動をしていかなければならない。

これから本格的に行われる授業や厳しい訓練、周囲の人達との関係など様々な課題があるが、一刻も早くこの生活に慣れ、仲間と共に、現場の第一線で活躍できるだけの体力、そこで必要とされる知識を身に付け、市民の方々と職場の先輩方の期待に応えられるような消防士となって卒業できるように頑張っていきたい。



伊藤 大志

(五城目町
消防本部)

私は、消防士になるためにいくつかの決意をしました。

まず一つ目。私は、高齢化が進む町のために、町民の皆さんのために決意をしました。何も出来ないのではなく何か出来る人になる。町のために何かしようと思えば消防士になることを志願したのです。

二つ目は、命をかける決意です。自分の命をおろそかにすると後に救える人々を救えないことにつながります。なので私は、自分の命を大切に、他人に命をかけるそんな消防士を目指しています。

三つ目は、家族に対する決意です。私ごとですが、妻と子がおります。私が一人前の消防士になり、本部に戻り地域住民のために活動する。それは同時に、家族も災害等から守ることにつながるのだと思いました。

大切な家族を地域住民を守りたい。その思いが私をつき動かしました。私の人生において、この半年間が一生の宝物となるように一日一日を大切に、充実した日々を送れるように心がけて過ごしたいと思えます。



進藤 佳祐

(大曲仙北広域市町
村圏組合消防本部)

四月一三日、ついに消防学校に入校した。この半年間、努力していきたいことが三点ある。

一点目は、継続して物事に取り組むことができる精神力をつけるということである。学力や体力は、一朝一夕で築き上げられるものではない。毎月の積み重ねが物をいう。

消防は他の仕事よりも多くの場面で継続できる力が求められる業である。粘り強く様々なことに取り組んでいきたい。

二点目は、多くの仲間をつくることである。これから八六名の団体生活となる多くの人と協力しなければならぬ。切磋琢磨していかなければならない。一つの事案に取り組みむときに一から十まで一人の人間でできるはずがない。その基礎を学ぶことができるのも消防学校である。一生付き合えることができる友人を多くつくり、人生の宝としたい。

三点目は、私事ではあるが、沢山の地を訪れるということである。消防学校に在る間は休日を利用して、安全かつ節度ある行動を心がけ、楽しむところは思い切り楽しんでいきたい。

この半年間、多くの方々にお世話になりながら、一回りも二回りも大きく成長していきたい。



中嶋 健太
(北秋田市
消防本部)

消防学校に入校し、消防士になつた事を自覚できた。早く地域に住まれている方の安全・暮らし・財産を守る事が出来る消防士になりたい。私が消防士になろうと思った理由は、祖母の影響が大きい。ここ二・三年で体調を崩し、昨年の二月に亡くなつた。その時に命の尊さを実感し、人の命を守る仕事がしたいと初めて思った。今までお世話になつた方々、地域の方々の暮らしを守りたいと思つた。今こうして消防士になるきつかけをくれた祖母に胸を張って報告したい。

これから始まる消防人生の中で、消防学校の日々はかけがえのないものになると思う。出会つた仲間・教官・経験・時間全てが大切な財産になるだろう。それを生かすも殺すも自分次第なので、一日一日をしつかり過ごしていきたい。

これからの半年で、自分がどれだけ成長できるか楽しみで仕方ない。仲間と切磋琢磨しながら成長していきたい。

消防士になり、消防学校に入校できて、本当に嬉しい。辛い事も悲しい事も仲間と共有し、励まし合いながら最後の特別な学校生活を謳歌したい。



石上 綺乃
(由利本荘市
消防本部)

消防学校に入校して、三日が過ぎました。大人数での生活は今まで経験したことがなく、慣れていないためまだ緊張しています。

月曜日から本格的に初任教育が始まりますが、体力面で他の学生達についていくことができないか不安です。中途半端な気持ちで半年の学校生活を送ってしまったら、配属先に戻つた時に何も役に立たない職員となつてしまふと思ひます。地域の人々から信頼されるような職員になれるよう、日々の努力を怠らないようにします。

私達学生は、所属機関から学校の費用を出してもらつた上に、給料も支払われます。私達はそのことに對して感謝し、忘れてはいけないと思ひます。

私達は学生といつても社会人です。自分の行動すべてに責任があります。

これから約半年間、消防学校で学んでいくことになりませんが、放課後の時間を有効活用し、体力錬成や復習を怠らず、毎日「これだけはやる」という小さな目標を定め、実行し、達成できるように努めていきたいと考えています。



土田 直紀
(大曲仙北広域市町
村圏組合消防本部)

初めて、消防学校の門をくぐり、寮に入ったとき、不安と緊張でいっぱいでした。そして、すぐに服装点検が始まり、そこでは、教官の怒鳴り声が響いていました。消防学校が厳しいというのは覚悟していましたが、寮に入つてすぐに怒鳴られるとは思つておらず、足が震えていました。

入校式。これから本格的に入校し、自分の消防人としての人生が始まるかと思ふと気合が入りました。

静かになつた屋内訓練場に入り、緊張が高まってきました。大きな声で返事をし、大きな声で校歌を歌い、式は無事に終わりました。

数日ぶりに家に帰ると今までの緊張からか、すぐに寝てしまいました。そして、土日と休み、日曜日の夕方、学校に戻る時間になり、僕は「やっぱり、家つて落ち着く場所なんだ」と改めて実感しました。それと同時に、自分は今まで本当に甘えていたんだと思ひました。

最初、六六期の仲間を見たときは、仲良く出来るかとても不安でしたが、みんなとあいきつしたりして、すぐに慣れることが出来、良かったです。

これから本格的に訓練が始まるわけですが、八六人の仲間と励まし合ひ、競い乗り越えていきたいです。

森田ポンプ	ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管	消防被服一式
各種消火器	消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

大館市消防団に
新団旗が納入

Ⅱ 大館市消防団 Ⅱ

六月八日、大館市消防団に新団旗
がお目見えしました。

大館市消防団の旧団旗は、昭和五
一年三月に納入したものであり、納
入から三六年のときを経て、ここ数
年著しく老朽化が目立っていました。
財政事情の厳しい折、市財政部局
への予算折衝を三年前から始め、晴
れて今年度の予算化にこぎつけまし
た。



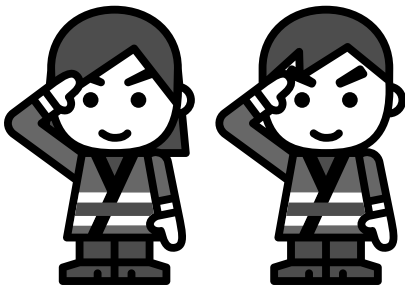
大館市消防団の新団旗

新団旗の規格等は、内務省告示第
三六二号(昭和二二年一月二日)
「消防団旗制式」により仕様書を作
成。寸法は縦八〇cm、横一〇〇cm、
旗地は先き染琥珀、地色はえんじ、
刺繍は本金糸など。

今後、大館神明社において安全祈
願を行った後、六月二〇日にはホテ
ルクラウンパレス秋北において、市
長、市議会議長、消防団OB、消防
団全分団長(四〇分団)及び消防関
係者等が一堂に集い、「大館市消防団
新団旗納入祝賀会」を挙行する予定
です。

成田十喜男大館市消防団長は「新
調された旗とともに消防魂を受け継
ぎ、地域のさらなる安全安心のため
精進します。六月二四日には市の消
防訓練大会が行われるため、真新し
い団のシンボルを全団員に披露しま
す」と力強く語ってくれました。

〔情報提供〕大館北秋田支部



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成24年		平成23年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建 物	24	102	16	107	220	8	- 5
林 野	2	11	3	6	16	- 1	5
車 輛	5	10	6	13	44	- 1	- 3
その他	7	24	6	22	56	1	2
合 計	38	147	31	148	336	7	- 1
死者数	2	9	2	21	34	0	-12
負傷者数	6	30	4	25	62	2	5

第65回秋田県消防大会
湯沢市雄勝郡支部開催のお知らせ

女優三咲順子さんによる防災一人語り「おにぎりいっぱいのおいしさ」の講演、西馬音内盆踊り、仙人太鼓のアトラクションもあります。
地域の方々も是非お出掛け下さい。

開催月日 平成24年6月30日(土)
午後1時から

開催場所 湯沢市沖鶴
「湯沢市文化会館」

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

- (営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp